

技術の名称

音響信号の事象検出装置

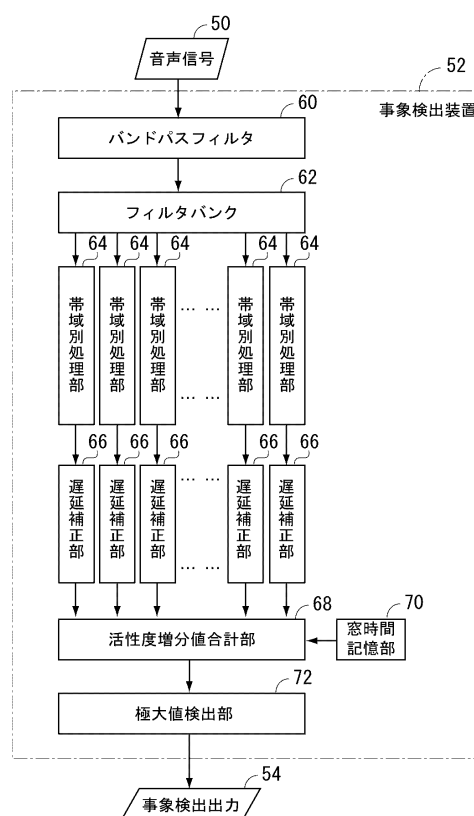
適用分野

音響信号に含まれる事象生起に関する情報を検出する装置、人間の知覚と一致する形で音響信号から事象の検出を行う装置。

- 目的 人間の知覚に近い態様で音響信号に基づいて事象を検出する事象検出装置を提供する。
- 効果 本発明によれば、より正確な事象の生起点が検出でき、ボトムアップ的な処理が実現できるので、人間の知覚に近い態様で音声信号に基づいて事象を検出することができる。

- 技術概要、特記事項、図など

本発明事象検出装置52は、入力音響信号に対して人間の外耳及び中耳の特性を反映したフィルタ処理を行うバンドパスフィルタ60と、人間の内耳特性を模したフィルタ処理を行うフィルタバンク62と、事象生起の可能性を示すストローブ点を検出してそのストローブ点における聴覚神経の活性度の時間積分等を出力する帯域別処理部64と、その処理出力の位相遅延を補正する遅延補正部66と、所定の窓時間内に検出されたストローブ点時刻を統合して活性度の積分值を出力する活性度増分値合計部68と、その出力に基づき新規事象生起時点を出力する極大値検出部72と、から構成されている。



- 主たる提供特許

特許等の名称 : 音響信号の事象検出装置及びコンピュータプログラム

登録番号
出願番号 : 特願2007-268040
公開番号 :

出願日 : 平成19年10月15日
- 実施実績

有、 ○無
- 提供形態

○実施許諾、 ×権利譲渡

お問合せ先 株式会社 国際電気通信基礎技術研究所(ATR) 経営統括部 知的財産チーム
〒619-0288 京都「けいはんな学研都市」光台二丁目2番地2
Tel 0774-95-2521 E-mail ; patent@atr.jp